

# 自主防災ニュース Vol.19



令和6年元日に起こった能登半島地震ではたくさんの方が避難を余儀なくされました。枚方校区自主防災会では10年以上前から避難所でのペットの扱いについて話し合ってきました。今回は避難所におけるペットの扱いについてご説明します。（枚方校区自主防災会で決議した内容です）

## 大地震が起こって家族みんなで避難所に避難！ その時ペットはどうする？

枚方校区には第一次避難所が2箇所（枚方小学校と青少年センター）ありますが、どちらの避難所もペットの受け入れは不可です。

大地震などの災害が起こった場合、避難所にはたくさんの方が避難して来られます。その中にはペットにアレルギーがある方もいらっしゃるかもしれません。アレルギーがあると、空中に舞っている動物の毛を吸い込んだだけでも喘息のような発作が出て、命に関わる場合もあります。避難所はあくまで人間優先とし、ペットは連れて入れません。また、小学校は児童が教育を受ける大切な場所であり、災害時の混乱が収まれば速やかに授業を再開する必要があります。小学校を清潔に保つという観点からも、ペットの受け入れはできません。

ペットを飼っていらっしゃる方は、ペットと一緒に車中泊をする、遠方の親戚や知人にペットを預ける（遠隔避難）、安全な場所（自宅ガレージ等）でペットと一緒に生活するなど、災害時におけるペットの扱いを平時から考えておいてください。

## 家族の一員であるペットのために普段から備えておくべきことは？

では、大切なペットのために日頃から何を準備しておけばいいでしょうか。

- ① ケージに入ることを嫌がらないように普段から慣らしておく。
- ② 他の人や動物に接してもむだ吠えしないように社会性を身につけさせておく。
- ③ トイレシートなど、決まった場所で排泄できるように訓練しておく。
- ④ 災害時にはペットもストレスで免疫力が落ち、感染症にかかりやすくなります。フィラリアや狂犬病など、感染症予防のワクチンを受けておきましょう。
- ⑤ ペットフード、水、トイレシートなど、ペットのための備蓄を忘れずに！
- ⑥ 遠方の親戚や友人宅など、一時的にペットを預かってくれる場所を確保しておく。
- ⑦ ペットとはぐれてしまった時のために、身元がわかる首輪や迷子札、マイクロチップなどをつけておく。（マイクロチップの埋め込み費用は数千円程度です）



☆ 災害時のペットの扱いについて、環境省のホームページもご参照ください。

「ペットも守ろう！ 防災対策」というパンフレットがダウンロードできます。

